

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公表番号】特表2009-539735(P2009-539735A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-515524(P2009-515524)

【国際特許分類】

B 6 5 F 1/16 (2006.01)

【F I】

B 6 5 F 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ごみフラップと、

前記フラップの下面側に配置されるモータと、

前記フラップの上面側に近接して配置される作動装置と、

を含んで構成される自動ごみ容器において、前記モータを作動させることにより前記フラップが開閉位置間で回動するように、前記作動装置が構成される自動ごみ容器。

【請求項2】

前記フラップは、隣接するごみ容器表面に蝶番で連結される請求項1記載の自動ごみ容器。

【請求項3】

前記隣接ごみ容器表面に配置され、かつ、前記モータに連結される、固定具を更に含む、請求項2記載の自動ごみ容器。

【請求項4】

前記固定具は、ケーブルを介して前記モータと連結される、請求項3記載の自動ごみ容器。

【請求項5】

前記モータは、前記ケーブルを巻き取ることにより前記固定具の方へ前記フラップを引き寄せるように構成される、請求項4記載の自動ごみ容器。

【請求項6】

前記作動装置は、赤外線検出器である、請求項1～請求項5のいずれか1つに記載の自動ごみ容器。

【請求項7】

前記作動装置は、前記フラップの上面側に配置される、請求項6記載の自動ごみ容器。

【請求項8】

前記作動装置は、前記フラップの上面側に近接して配置される、請求項6記載の自動ごみ容器。

【請求項9】

ごみ室への開口部を有する筐体と、

前記筐体に取り付けられて、閉止位置において前記開口部を覆うとともに、開位置にお

いて前記開口部を露出させるごみフラップと、

モータと、

前記モータを前記フラップに連結する手段と、

前記フラップの一側上に配設され、前記モータにデータを提供することにより、ごみが
ごみ室に入れられたと判断されたときに、ごみフラップが、開位置から閉止位置へ回動
される検出器と、

を含んで構成される自動ごみ容器。

【請求項 10】

前記ごみフラップは、閉止位置において、前記筐体のうち隣接する表面と面一であり、
前記ごみフラップは、隣接する表面に、蝶番で動くよう取り付けられる、請求項 9 に記
載の自動ごみ容器。

【請求項 11】

前記連結する手段は、前記隣接する表面上に配置され、前記モータに連結された固定点
を含む、請求項 10 に記載の自動ごみ容器。

【請求項 12】

前記固定点は、ケーブルを介して前記モータに連結され、第 2 の筐体は、前記モータを
収容する、請求項 11 に記載の自動ごみ容器。

【請求項 13】

前記モータは、前記ケーブルを巻き付けて、前記フラップを前記固定点の方向へ引き寄
せるように構成される、請求項 12 に記載の自動ごみ容器。

【請求項 14】

前記検出器は、前記フラップの上面に配置される、請求項 9 ~ 請求項 13 のいずれか 1
つに記載の自動ごみ容器。

【請求項 15】

前記モータは、前記フラップの一側で第 2 の筐体内に取り付けられて、リンクエージを通
して前記フラップに連結される、請求項 9 に記載の自動ごみ容器。